

## 松江市立病院 POTTプログラム研修会報告



日時: 2016年11月12日(土) 16時~18時

参加者: 10名 (5西・7東病棟各5名ずつ)

講義・指導: 迫田綾子(日本赤十字広島看護大学) 原田久美子

サポーター: 林裕子CN 坂田温子CN 石河映美CN



同日、老健「虹」で開催後、車で約5分の距離にある松江市立病院へ移動し開催しました。病棟師長、副師長を始め各病棟で指導的役割を担う看護師が参加しました。普段患者さんへの食事介助は当たり前のように行っている参加者でしたが、この日の患者体験で「食べさせられるのは初めて」という参加者がほとんどでした。体験学習により、日々の自分の看護を振り返り、患者さんへ与える影響を体感し、ポジショニングの重要性を学びました。

### 【参加者の感想】

- ・頸部・肘・足底の安定が大切であることを学んだ。
- ・足底の設置に着目していなかった。患者さんに実施していきたい。
- ・自分が食事介助されるのを体験することで患者さんの苦しいことがわかった。
- ・患者に一番安楽な姿勢で食事ができるようにスタッフで協同していきたい。
- ・今までできていると思っていたが、知らないこと、できていないことがあることがわかった。
- ・ポジショニングで食べる意欲が違うことがわかった。
- ・姿勢を整えることで安心して食事摂取ができるよう関わっていきたい。
- ・今までやっていたことが枕一つで違うことがわかった。
- ・基本から学びなおすことができた。参加して本当によかった。

### 【担当者より】

迫田先生、サポーターの先輩CN、同期と一緒に研修会ができ、夢のような一日でした。ありがとうございました。病院で継続していけるかどうか私にかかっているというプレッシャーを感じながらも患者さんのためにできることから始めていきたいと思います。研修会直後、参加者と共に病棟でポジショニングを実施するにあたり、直面した問題は「クッションが足りない」ということでした。患者さんの安心・安楽・安全のために必要な物品をそろえたいと思います。 松江市立病院 原田久美子